

# 月例統計報告（令和3年9月）

令和3年10月1日  
企画振興部

## 1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（令和3年9月1日現在））

本県の総人口は、938,347人（男 441,633人 女 496,714人）  
前月に比べ、920人（0.10%）減少  
自然増減 926人の減少（出生者 373人 死亡者 1,299人）  
社会増減 6人の増加（県内への転入者 717人 県外への転出者 711人）  
この1年間では、14,495人（1.52%）の減少

## 2 秋田県経済の動き

### (1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（令和3年7月分））

秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）  
季節調整済指数 105.8 : 前月比 4.3%下降（6か月ぶりに下降）  
原指数 105.0 : 前年同月比 13.8%上昇  
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）  
季節調整済指数 98.1 : 前月比 1.5%下降

### (2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（令和3年7月分））

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出  
現金給与総額 300,664円 : 前月比 22.1%減、前年同月比 2.2%増  
総実労働時間 150.6時間 : 前月比 0.5%減、前年同月比 同水準  
常用雇用指数 99.1（平成27年=100）  
: 前月比 0.3%下降、前年同月比 1.4%下降

### (3) 物価動向（消費者物価指数（令和3年7月分））

秋田市消費者物価指数 100.2（2020年=100）  
前月比 0.6%上昇、前年同月比 0.2%上昇  
全国の消費者物価指数 99.7（2020年=100）  
前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.3%下降

### (4) 景気動向（景気動向指数（令和3年7月分））

先行指数 116.1 前月を 0.5ポイント上回り、2か月ぶりに上昇  
一致指数 76.5 前月を 1.9ポイント上回り、2か月連続で上昇  
遅行指数 94.4 前月を 3.7ポイント下回り、2か月連続で下降

## 3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）

6~7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和3年9月1日現在)」)

(1) 令和3年9月1日現在の本県の総人口は 938,347人(男 441,633人 女 496,714人)

となり、前月に比べ 920人(0.10%)の減少となった。

自然増減 926人の減少(出生者 373人 死亡者 1,299人)

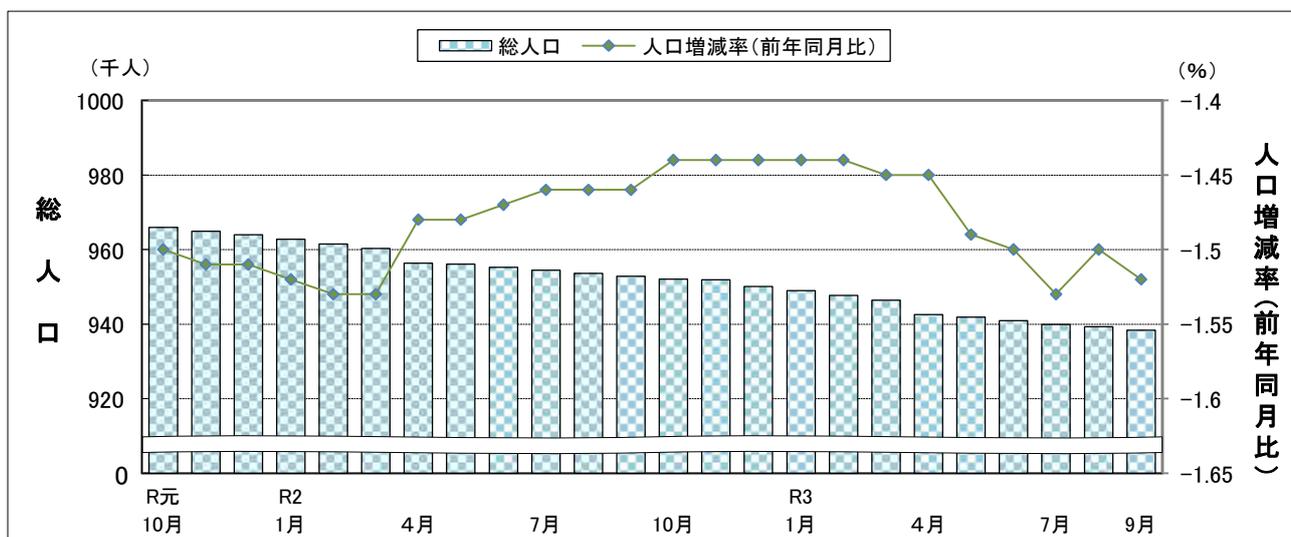
社会増減 6人の増加(県内への転入者 717人 県外への転出者 711人)

(2) この1年間では、14,495人(1.52%)の減少となった。

自然増減 11,487人の減少(出生者 4,418人 死亡者 15,905人)

社会増減 3,008人の減少(県内への転入者 11,433人 県外への転出者 14,441人)

(3) 世帯数は 390,527世帯となり、前月に比べ 115世帯の減少となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
R2(2020)年 8月	377	1,203	-826	842	756	86	-740
R2(2020)年 9月	385	1,172	-787	772	822	-50	-837
" 10月	370	1,272	-902	773	793	-20	-922
" 11月	367	1,305	-938	588	656	-68	-1,006
" 12月	375	1,483	-1,108	621	626	-5	-1,113
R3(2021)年 1月	340	1,595	-1,255	555	603	-48	-1,303
" 2月	286	1,294	-1,008	594	867	-273	-1,281
" 3月	365	1,457	-1,092	2,481	5,255	-2,774	-3,866
" 4月	401	1,332	-931	2,008	1,757	251	-680
" 5月	385	1,328	-943	744	751	-7	-950
" 6月	349	1,179	-830	669	868	-199	-1,029
" 7月	422	1,189	-767	911	732	179	-588
" 8月	373	1,299	-926	717	711	6	-920
直近1年間の累計 (R2.9~R3.8)	4,418	15,905	-11,487	11,433	14,441	-3,008	-14,495

(参考)

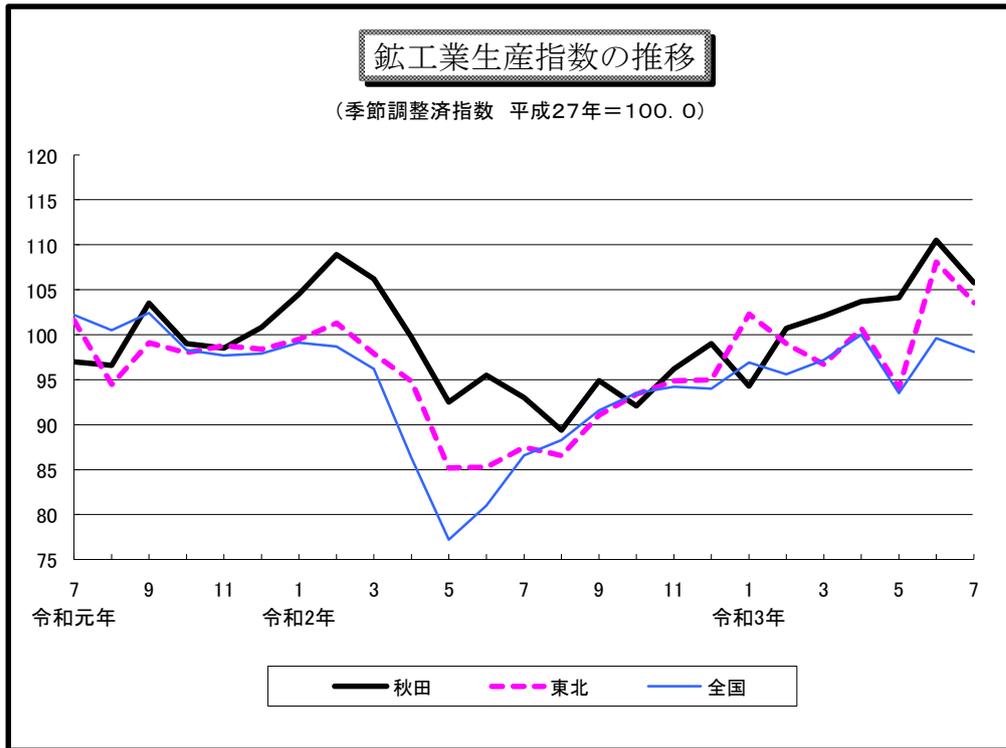
R元.9~R2.8の累計	4,519	15,556	-11,037	11,914	14,999	-3,085	-14,122
--------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

## 2 秋田県経済の動き

### (1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和3年7月分)」)

令和3年7月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が105.8(前月比4.3%減)となり、6か月ぶりに下降した。また、原指数は105.0となり、前年同月と比べ13.8%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は98.1となり、前月比で1.5%の下降となった。また、東北は103.6となり、前月比で4.2%の下降となった。



#### ○主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
食料品工業	274.2	11.7	冷凍調理食品
化学工業	112.0	27.6	医薬品原薬
汎用・業務用機械工業	120.4	5.3	医療用具
□低下した主な業種			
生産用機械工業	98.4	▲ 28.6	産業用ロボット
電子部品・デバイス工業	92.0	▲ 4.6	磁性材料用粉末や金
パルプ・紙・紙加工品工業	64.6	▲ 30.9	製紙パルプ

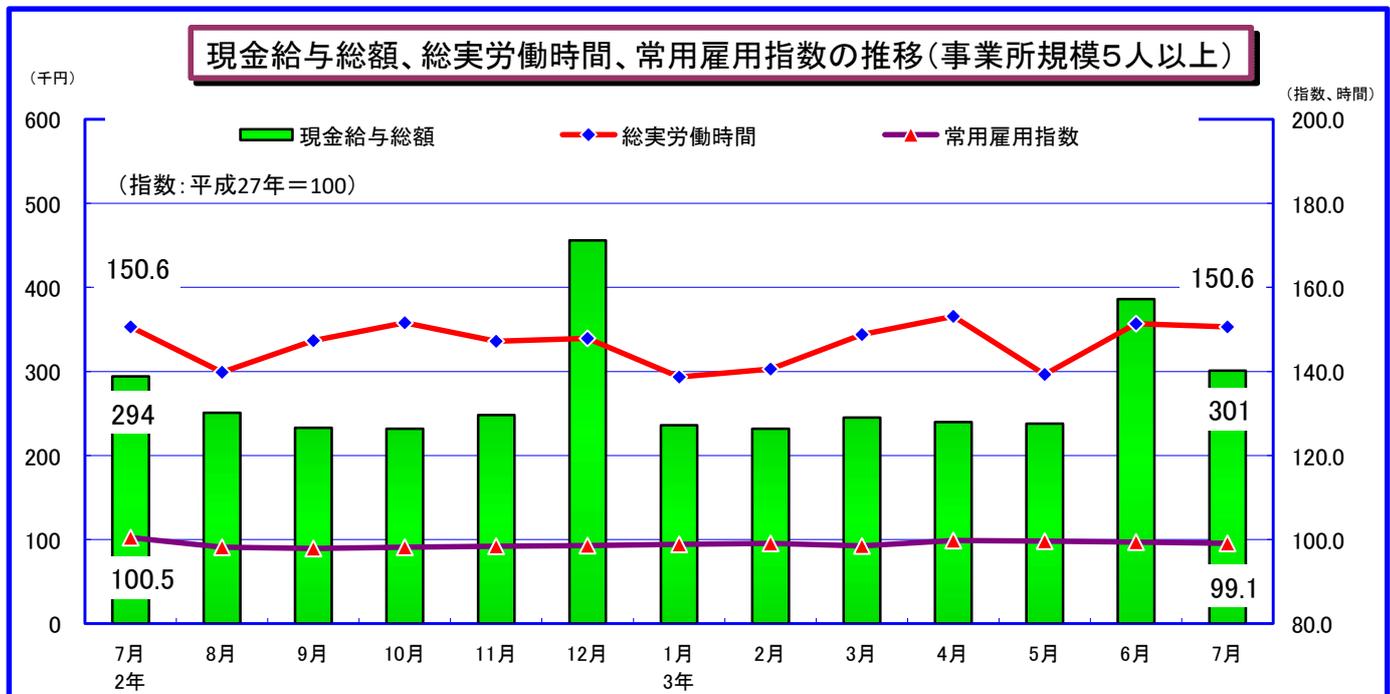
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和3年7月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和3年7月の現金給与総額は300,664円となり、前月比で22.1%の減、前年同月と比べ2.2%の増となった。

総実労働時間数は150.6時間となり、前月比で0.5%の減、前年同月と同水準となった。

常用雇用指数は99.1となり、前月比で0.3%の下降、前年同月と比べ1.4%の下降となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
情報通信業	460,828	35.9
運輸業, 郵便業	414,872	24.6
建設業	371,684	14.9
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
学術研究, 専門・技術サービス業	335,422	▲ 24.8
教育, 学習支援業	349,357	▲ 15.2
金融業, 保険業	305,749	▲ 12.3

2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
生活関連サービス業, 娯楽業	140.4	12.5
運輸業, 郵便業	192.2	4.8
製造業	163.8	3.8
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
学術研究, 専門・技術サービス業	146.2	▲ 10.1
宿泊業, 飲食サービス業	109.8	▲ 6.9
教育, 学習支援業	146.3	▲ 3.9

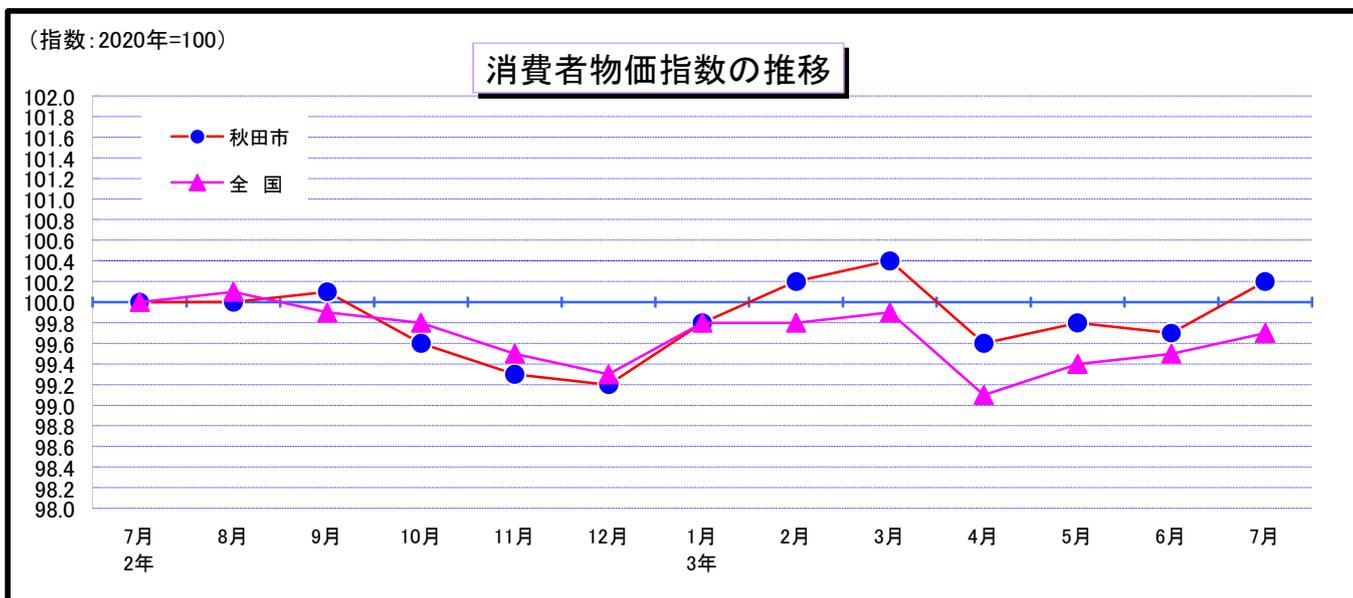
3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
運輸業, 郵便業	106.7	4.4
サービス業(他に分類されないもの)	116.8	4.3
医療, 福祉	102.8	3.3
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
製造業	91.8	▲ 14.4
宿泊業, 飲食サービス業	87.4	▲ 4.7
金融業, 保険業	86.9	▲ 4.6

### (3) 物価動向(「消費者物価指数(令和3年7月分)」)

令和3年7月の秋田市消費者物価指数は100.2(2020年=100)となり、前月比で0.6%の上昇、前年同月比で0.2%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は99.7となり、前月比(季節調整値)で0.2%の上昇、前年同月比で0.3%の下落となった。



10大費目指数の動き(2020年=100):秋田市

	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費				
	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合													
当月指数	100.2	100.4	99.6	99.2	100.0	97.9	100.5	101.1	104.3	105.6	99.8	99.1	94.9	99.8	102.3	101.4
前月比(%)	0.6	0.6	0.5	0.5	0.0	-1.1	0.2	0.5	1.4	1.4	-2.3	-0.1	1.3	0.0	1.4	0.5
前年同月比(%)	0.2	0.4	-0.6	-0.9	-0.3	-3.7	0.4	0.8	5.3	5.2	1.9	-1.2	-4.8	0.9	1.5	1.2

#### [上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	他の光熱	35.1	0.47
家具・家事用品	家庭用耐久財	11.4	0.16
住居	家賃	0.6	0.09

#### [下落]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
交通・通信	通信	▲24.9	▲1.23
食料	生鮮野菜	▲10.2	▲0.26
保健医療	保健医療用品・器具	▲5.2	▲0.04

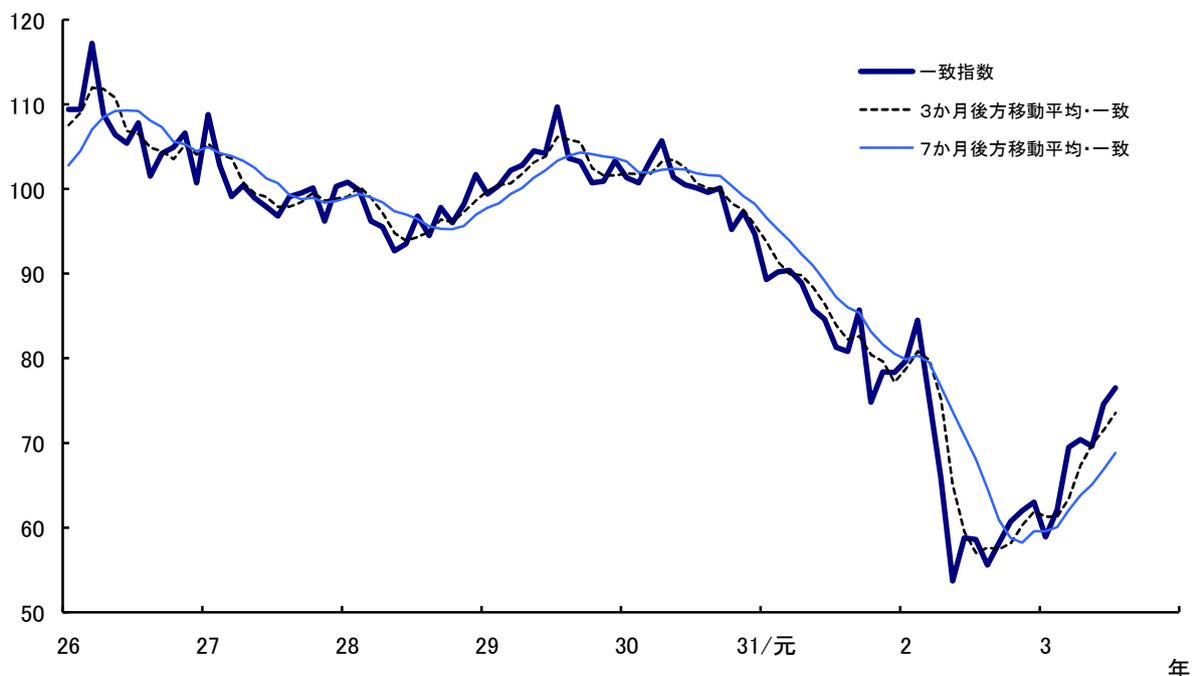
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和3年7月分)」)

先行指数 116.1 前月を 0.5<sup>°</sup> イト上回り、2か月ぶりに上昇した。  
 一致指数 76.5 前月を 1.9<sup>°</sup> イト上回り、2か月連続で上昇した。  
 遅行指数 94.4 前月を 3.7<sup>°</sup> イト下回り、2か月連続で下降した。

一致指数のグラフ

(平成27年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.50	1.62	0.12	1.75
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-4.7	-7.5	-2.80	0.45
鉱工業生産指数(H27年=100)	110.5	105.8	-4.25%	-1.07
生産財生産指数(H27年=100)	98.2	95.2	-3.05%	-0.64
百貨店・スーパー販売額(%)	-4.5	0.5	5.00	1.00
新車販売台数(台)	2,381	2,370	-0.46%	-0.06
投資財生産指数(H27年=100)	107.6	97.1	-9.76%	-1.28
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	29,731	25,643	-13.75%	-0.20
秋田空港利用者数(人)	19,772	29,094	47.15%	1.96
CI 一致指数(全体値)	74.6	76.5	1.9	

## 景況ダイジェスト（令和3年9月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																																																													
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和3年9月15日公表	〔概況〕県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあるものの、緩やかに持ち直している。 ・需要面をみると、個人消費は、持ち直しの動きが一服している。公共投資は、高水準ながら、増勢が鈍化している。住宅投資は、下げ止まっている。設備投資は、製造業を中心に持ち直している。  ・生産は、緩やかに増加している。 ・雇用・所得は、持ち直している。																																																													
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 (産業政策課) 令和3年7月分 令和3年9月16日公表	〔概況〕県内経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、サービス業は新型コロナウイルス感染症の影響から、宿泊業等で低迷が続いている。製造業は全体として堅調な動きが続いている。 製 造 業：電子部品・デバイス・電子回路等で好調な動きがみられ、全体としては堅調な動きが続いている。 建 設 業：公共投資は4か月連続で前年同月を下回った。 小 売 業：全体としては堅調に推移している。 サ ー ビ ス 業：新型コロナウイルス感染症の影響から、旅館・ホテルや飲食・観光、道路旅客運送は低迷が続いている。 〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲0.7から8.3、現在の資金繰りは▲6.9から▲4.2、3か月先の業況見通しは▲2.8から▲9.7となっている。																																																													
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和3年7月分 令和3年9月号	〔概況〕県内経済は、一部に弱さがみられるが、全体として持ち直しの動きが続いている  機械金属の生産は前年を下回ったものの、電子部品は好調を維持しているほか、木材も増加傾向で推移している。建設は、公共工事が前年を下回ったものの、住宅着工は前年を上回った。個人消費は全体として持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は改善の動きがみられる。																																																													
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和3年8、9月号	〔県内経済概況〕依然厳しさが残るものの、緩やかに持ち直す県内経済  最近の県内経済は、足元の公共投資は弱含みながら堅調な水準を維持しており、住宅投資はマンション着工などもあって再び前年を上回っています。また、前年の大幅な減少の反動もあり、個人消費は持ち直し基調を維持しています。この間、生産活動は電子部品が回復基調で、木材も高操業に転じるなど上向き傾向を強め、雇用情勢も改善基調にあるなど、県内経済は依然厳しさが残るものの、緩やかに持ち直しています。																																																													
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和3年7月分 令和3年8月31日公表	〔概況〕令和3年7月の有効求人倍率（季節調整値）は1.62倍。前月比0.12ポイント上回る。 （全国平均は1.15倍、前月を0.02ポイント上回る。）  有効求人数（季節調整値）は前月に比べて2.9%増加、有効求職者数（同）は4.3%減少した。  ① 新規求人数は8,980人、前年同月比23.1%（1,688人）増加。同比6か月連続で増加した。 ② 有効求人数は24,048人、前年同月比22.1%（4,360人）増加。同比6か月連続で増加した。 ③ 新規求職者数は3,090人、前年同月比10.0%（343人）減少。同比3か月連続で減少した。 ④ 有効求職者数は15,477人、前年同月比3.5%（568人）減少。同比12か月ぶりに減少した。																																																													
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商工リサーチ秋田支店 令和3年8月度 令和3年9月2日公表	(負債額1,000万円以上の企業倒産) 倒産件数 0件 負債総額 0円 前年同月比 ▲100.00% ▲100.00% 前年同月 6件 4億5,600万円  2021年（令和3年）7月度に続き、集計史上6度目の倒産発生ゼロ																																																													
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和3年8月分 令和3年9月14日公表	[業界判断指数]単位：%P 業界全体 製造業 非製造業 売上高 収益状況 7月分DI -40.0 -33.4 -44.4 -28.3 -45.0 8月分DI -46.7 -37.5 -52.8 -41.7 -48.3 比較増減 -6.7 -4.1 -8.4 -13.4 -3.3																																																													
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和3年8月分 令和3年9月20日公表	対前年度増減率 件数8.8%増加、請負金額7.1%減少 (金額単位：百万円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">発注者</th> <th colspan="2">令和2年8月</th> <th colspan="2">令和3年8月</th> <th colspan="2">対前年度増減率(%)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>請負金額</th> <th>件数</th> <th>請負金額</th> <th>件数</th> <th>請負金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>30</td> <td>2,677</td> <td>28</td> <td>2,803</td> <td>-6.7</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人等</td> <td>3</td> <td>285</td> <td>4</td> <td>347</td> <td>33.3</td> <td>21.8</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>155</td> <td>6,402</td> <td>201</td> <td>5,345</td> <td>29.7</td> <td>-16.5</td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>97</td> <td>3,581</td> <td>76</td> <td>3,519</td> <td>-21.6</td> <td>-1.7</td> </tr> <tr> <td>地方公社</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>285</td> <td>12,946</td> <td>310</td> <td>12,023</td> <td>8.8</td> <td>-7.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体、地方公社を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者</p>	発注者	令和2年8月		令和3年8月		対前年度増減率(%)		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	国	30	2,677	28	2,803	-6.7	4.7	独立行政法人等	3	285	4	347	33.3	21.8	県	155	6,402	201	5,345	29.7	-16.5	市町村	97	3,581	76	3,519	-21.6	-1.7	地方公社	0	0	0	0	-	-	その他※	0	0	1	6	-	-	合 計	285	12,946	310	12,023	8.8	-7.1
発注者	令和2年8月		令和3年8月		対前年度増減率(%)																																																										
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額																																																									
国	30	2,677	28	2,803	-6.7	4.7																																																									
独立行政法人等	3	285	4	347	33.3	21.8																																																									
県	155	6,402	201	5,345	29.7	-16.5																																																									
市町村	97	3,581	76	3,519	-21.6	-1.7																																																									
地方公社	0	0	0	0	-	-																																																									
その他※	0	0	1	6	-	-																																																									
合 計	285	12,946	310	12,023	8.8	-7.1																																																									

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和3年7月分 令和3年8月3日公表	項目	内容						
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		生産活動	持ち直している						
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある						
		設備投資	3年度は増加見込み						
		企業収益	3年度は増益見込み						
		企業の景況感	「上昇」超に転じている						
		住宅建設	前年を上回っている						
	公共事業	前年度を下回っている							
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 令和3年6月調査 令和3年7月1日公表	[業況判断D I]		3年		3年		3年		
	単位：%ポイント		3月	6月	変化幅	9月(予測)	変化幅		
	全産業		-15	-9	6	-12	-3		
	製造業		-11	0	11	10	10		
非製造業		-16	-12	4	-24	-12			
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和3年7月分 令和3年9月16日公表	全体の動向：緩やかに持ち直している 鉱工業生産：一進一退となっている 個人消費：持ち直しの動きがみられる 住宅着工：下げ止まりの動きがみられる 公共投資：減少している 設備投資：増加している 雇用：一部に持ち直しの動きがみられる 企業倒産：落ち着いた動きとなっている							
		項目	内容						
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している						
		生産活動	持ち直している						
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		設備投資	3年度は増加見込み						
		企業収益	3年度は増益見込み						
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小						
	住宅建設	前年並みとなっている							
公共事業	前年度を下回っている								
全国	月例経済報告 内閣府 令和3年9月 令和3年9月16日公表	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。 ・個人消費は、弱い動きとなっている。 ・設備投資は、持ち直している。 ・住宅建設は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・公共投資は、高水準で底堅く推移している。 ・輸出は、緩やかな増加が続いている。 ・輸入は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。 ・貿易・サービス収支は、おおむね均衡している。 ・生産は、このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。 ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。 ・企業の業況判断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・倒産件数は、減少している。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。 ・国内企業物価は、上昇している。 ・消費者物価は、このところ底堅さがみられる。  先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。							
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和3年6月調査分 令和3年7月1日公表	[業況判断D I]		〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計
		単位：%ポイント		製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業	
		3年 / 3月		5	-1	-13	-11	-8	
		3年 / 6月		14	1	-7	-9	-3	
		変化幅		9	2	6	2	5	